

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年1月31日

2. 認定事業適応事業者の名称

日本スピンドル製造株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は、気候変動問題への対応に価値を見出す傾向が国際的に加速している社会情勢等を鑑み、製造時の消費電力に再生可能エネルギーを使用していくことでCO₂排出量を削減し、付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていくことを目標とします。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

炭素生産性を77.0%向上することを目標とします。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2023年度（計画終了年度）に経常利益を計上する事を目標とします。

(4) 事業適応の類型

③エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

生産用機械器具製造業（26）

（選定の理由）

計画の対象となる事業は、主に自動車部品製造機械を製造するものであるためです。

(6) 事業適応の具体的内容

2021年度の計画では、尼崎本社工場において、既に導入したLED照明と50kwの太陽光発電を継続的に使用することにより、付加価値の創出と合わせて5.2%の炭素生産性の向上を見込みます。

2022年度の計画では、空調設備を製造する8工場内の照明を蛍光灯・水銀灯からLED照明に更新し、また、製造機械の試験をする14工場西の古い空調機を更新することにより、付加価値の創出と合わせて40.2%の炭素生産性の向上を見込みます。

2023年度の計画では、製造機械組み立てをする2工場（新工場棟）の屋根に200kwの太陽光発電を導入し、これにより、目標年度である2023年度に我が社全体の炭素生産性を上記の設備投資と付加価値の創出を合わせて77.0%の向上を見込みます。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2022年2月、終了時期 2024年3月